

## 令和6年度 第1回 三島市青少年問題協議会 会議録

- 1 開催日時 令和6年7月30日(火) 午後2時～午後3時30分
- 2 開催場所 三島市民生涯学習センター3階 講義室
- 3 出席者
  - (1) 会長 豊岡武士三島市長
  - (2) 委員 森正晴三島警察署長代理金指哲典三島警察署生活安全課長、竹林重行三島市教育委員、永倉えり子三島市社会教育委員長、長谷川和恵三島市校長会会長、松下明子静岡県立三島北高等学校校長代理勝間田浩文静岡県立三島北高等学校副校長、鈴木久美子静岡県立三島南高等学校校長、石垣智博静岡県立三島長陵高等学校校長、竹中朝崇日本大学三島高等学校・中学校校長、宮川紀代美三島市民生委員児童委員協議会会長、長島信行三島市民生委員児童委員協議会理事、寺野下昌秀三島市PTA連絡協議会会長、宮澤純子三島市PTA連絡協議会家庭教育委員長、渡邊美恵子三島市交通安全保護者の会連合会会長、大川鈴代三島市中央女性学級運営委員、横川久美子いきいき友の会副会長、中島一恵三島市地域活動連絡協議会会長、服部光弥三島市青少年健全育成会監事、足立博道三島市スポーツ少年団本部長、小塚英幸三島市教育長、佐野文示三島市こども・健康まちづくり部長、西川達也三島市社会福祉部長、鈴木隆幸三島市教育推進部長
  - (3) 事務局 沼上勝一生涯学習課長、稲木修二女性青少年係長、上田康博指導主事、渡辺美保子主任、武藤知之副主任、山中彩愛主事補  
畠和哉教育総務課長、中村雅志学校教育課長、及川篤子文化財課長、鈴木武仁文化のまちづくり課副主任、石田雅男福祉総務課長、岩崎淳子子ども未来課長、浅見徹哉健康づくり課長、勝又誠スポーツ推進課長
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴人の人数 0人
- 6 委嘱状及び任命書交付  
委員28人を代表して竹林重行三島市教育委員に委嘱状を交付
- 7 会長あいさつ
- 8 副会長選出  
副会長として小塚教育長を選出した。

## 9 協議事項

- (1) 令和5年度青少年育成保護事業報告について
- (2) 令和6年度青少年育成保護事業計画について、関係各課長より説明

※ 「資料（各課の青少年育成保護事業）」より

関係各課長からの説明がなされた後、会長より補足説明がされた。内容は以下のとおり。

- ・教室の授業にオンラインで参加できる。GIGAスクールとして先進的な取り組みをしており、不登校でも自宅で授業を受けることができるLTE回線を使っている。
- ・教室においてもタブレットと電子黒板を使った教育がされ、県内でもトップクラス。
- ・地域学校協働本部事業は地域と学校が一体となって子どもたちを育む活動を行っており、県内でも三島市がトップで、活発な活動をしている。
- ・今年度から始まった絵本のまち三島の取り組みは、三島市内の4名の絵本作家の方々とコラボしながら絵本のまちを作り上げていきたい。
- ・子どもは地域の宝事業として、町内で誕生した子が町内のいろいろなイベントに参加し、地域として温かくサポートし成長していく取り組みだが、ほとんどの自治会で行っていただいている。
- ・市民体育館を1年間休館し、フロアの全面改修と壁面の空調やエレベーターをつけるといった大改修をしている。また、スポーツ推進委員会がボッチャを初めとして、様々な障がい者スポーツの推進を図り、障がい者スポーツに力を入れている。

続いて、委員からの意見、質問等について、関係各課長が回答した。

### 委員

放課後児童クラブのスタッフの確保状況とスタッフへの研修についてお聞きしたい。  
教育総務課

人数は充足しているが、希望する児童数による教室の増加、問題を抱えているお子様への加配をしていく。また、新規採用の際は採用研修、常勤の方へも年1回以上の研修を指定管理者が実施している。

### 委員

コミュニティスクールについて説明をお願いしたい。  
生涯学習課

学校運営協議会制度というものがあり、各学校長が決めた運営方針について地域の方が承認するというような取り組みがコミュニティスクールであり、学校と地域の方と協働して学校運営を進めていく。

### 会長

地域の代表的な方に様々な学校の経営方針や教育方針等を相談し、理解をいただきながら学校教育を進めていくことになっており、三島市の小中学校全てにコミュニ

ティスクールが設立されている。

#### 委員

放課後児童クラブで全体で17人の待機児童が発生したとのことだが、山田小で7月22日から夏季限定の児童クラブを開設したのは山田小の待機児童が多かったのか、17人の待機児童がいたため、山田小に夏季限定の児童クラブを開設したのか。

#### 教育総務課

受け入れできる人数は全体としては足りているが、学区により希望者と受け入れ人数とのマッチングがうまくいかなかったところがあり、その傾向が山田小が強かった、受け入れの優先順位は低学年からになるため、高学年が数名ずつ受け入れなかったという状況で、今年度も待機児童が山田小で2～3名高学年でいる。これを受け、夏季休暇中は通常利用していない児童も利用でき、山田小に2クラスの児童クラブがあるが、今月22日よりもう1クラス増設して運用している。

#### 委員

194人の民生委員が地域の皆さんとの懸け橋として、施設訪問をしており、今年度は恵明学園の模擬店に参加させていただいた。

#### 委員

インクルーシブ教育で障がい者とどのように接すればよいか説明をしていただきたい。  
学校教育課

障がいがあるないに関わらずどんなお子さんにも同様に対応していくよう行っているが、必要な支援がお子さんごと違うので、それを共有化し対応する場合もあるが、大人でも子供でも関係なく平等に接していただくのが一番望ましいのではないかと。

#### 会長

三島市では小学校1年生のクラスすべてに支援員をつけ、小学校2年生から中学校3年生まで普通の教室で特別に支援が必要なお子さんがいるところはできる限り支援員を配置しており、それとは別に特別支援学級もある。

#### 委員

家庭教育支援事業として、学校と保護者をつなぐため講座を開いているが、他の地域の方々との情報を交換する機会が少ないため、今回ここで繋がった皆様と情報共有したり、連絡をとりあうよう協力をお願いしたい。

#### 会長

社会もデジタルになり、フェイストゥフェイスで話をする機会が減ってきているが、ここにいるメンバーに家庭教育学級で話すようお願いすれば、引き受けてくださると思うので、遠慮なくおっしゃっていただきたい。

## 委員

三島市PTA連絡協議会では家庭教育学級で実施する講座をお父さん、お母さん、おじいさん、おばあさんなど様々な世代にご視聴いただけるように、夕方に開催にしたり、ZOOMでも聴講できるようにしたり、録画して3日間放送するなどの手法を考えている。

保護者の興味は、家庭と安全、子どもの成長についてだが、このような講座ができる講師が見つからないため、市や皆様にもご協力いただきたい。

## 会長

子どもの成長についてだが、特に年頃の女の子のダイエットについては将来の出産などに影響を及ぼすことがあると考えられる。子どもの体の成長については、市では健康づくり課が担っているがいかがか。

## 委員

特に結婚前の体づくりについて皆さんに知っていただきたい。それが少子化対策にも繋がっていくため、相談いただければと思う。

質疑応答の後、令和6年度青少年育成保護事業計画について、委員より承認いただいた。

## 10 情報交換

「管内の少年非行の現状について」との議題で三島警察署生活安全課長から情報共有がなされた。主な内容は次のとおり。

- ・ 昨年の刑法犯認知件数は静岡県内で1万5,612件、前年より1,343件、9.4%増加している。平成14年のピーク時と比べ4分の1程度。
- ・ 昨年の三島署管内の刑法犯認知件数は、627件、前年より58件、8.5%減少している。平成11年のピーク時の3,984件と比べると16%。
- ・ 三島署は県下28の警察署のうち認知件数は多い方から11番目。
- ・ 三島警察署の規模は処理の数の多い方から9番目なので、犯罪の認知件数が11番目ということは抑止がかかっていると言える。
- ・ 本年6月末の静岡県の刑法犯認知件数が約7,800件。前年度同期と比べると約240件3.1%ほどの増加。
- ・ 三島警察署管内では6月末現在約270件、前年度と比べると約70件、20%減少しているため、市民の皆さんの意識の高さから来ているものなのではないか。
- ・ 特殊詐欺も昨年は県下でワースト3番目だったが、現在は7件程度、昨年より10件以上減っている状況なので、市民の防犯への意識は浸透していると感じる。
- ・ 管内は平成11年から減少傾向だったが、令和3年、4年は増加したため、予断を許さない状況。広報啓発活動は常々何回でもやっていかなければならない。
- ・ 昨年の少年の検挙補導状況は、1年間で585人。令和4年と比べると12人増加し、2年連続で増加している。
- ・ 増加している罪種は凶悪犯と粗暴犯で25人増加。凶悪犯は殺人、強盗、放火等。凶悪

犯は粗暴犯、暴行障害がメインの犯罪であり、脅迫恐喝も含まれる。

- ・令和5年中の三島警察署管内の刑法犯少年の補導人員は18人。令和4年と比べると6人減少している。県の傾向とは異なる。窃盗犯、万引き、自転車盗の割合が多くを占めている。全ての罪種で減ってはいるが、中には建造物侵入のようなその他の部分が増えている傾向にある。

- ・今年6月末現在の検挙補導人員が県内では241人。前年同期と比べると16人増加し、7.1%増加している。

- ・三島署管内では、検挙補導人員は8人で2人減、20%減である。

- ・数字だけ見ると静岡県内全体を見たときとの状況が逆で、いい子が増えてきたように見えるが、数字には見えない心配になるケースもある。

- ・最近の少年の事案で懸念しているのは、闇バイト問題や特殊詐欺へ加担する少年である。

- ・やはりネットやSNSを通じての繋がりということになっているため、いろいろな会議に行った場合に、子どもさんと携わる方々にはその子どもさんとのネットの付き合い方をいろいろな立場でいろいろな視点からご指導いただけるよう紹介している。

- ・会長より、ネットについての指導を行っている人権擁護委員さん等の団体がある旨説明し、引き続き、そのような方々に頑張ってください、ネット犯罪に手を染めることがないように改めてご指導をお願いしたい旨話した。

## 1 1 閉会